

環境 報告書

SAGA UNIVERSITY,
Environmental Report 2026

2026年



環 境 方 針

基本理念

佐賀大学は、自然と調和のとれた営みを続けるための「知」の継承と創造を担い、教育と研究を通して地域及び社会に貢献する。

行動指針

- 1) 地球環境の保全・改善のための教育を行い、環境に配慮できる人材を育成する。
- 2) 地球環境の保全・改善のための研究開発に努める。
- 3) 地域環境保全のため、グリーン購入の推進、エネルギー、水使用量及び廃棄物発生の削減、資源リサイクル、化学物質管理などに努める。
- 4) 地域との連携のもとに自然環境保全に努める。
- 5) 教育研究などあらゆる活動において、環境に関連する法律、規制、協定及び学内規程等を遵守する。
- 6) 環境マネジメントシステムを確立し、すべての教職員、学生の参画のもと、これを継続的に運用して改善を図る。
- 7) 環境の視点を予算編成方針に反映させる。
- 8) あらゆる人に環境報告書を公開し、地球環境の保全・改善に対する取組の協力と理解を求める。

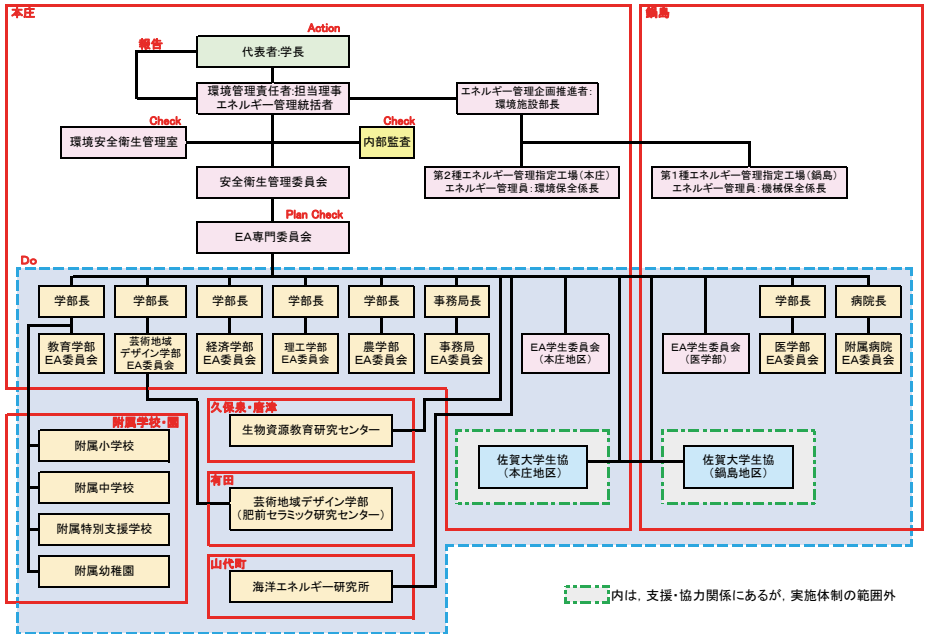
環境報告書の本編は、佐賀大学エコアクションホームページに掲載していますので、そちらをご覧ください。

<http://www.saga-u.ac.jp/eoaction/sub10.html>

エコアクションの取組

1) エコアクションの実施体制

2025 年 4 月改訂



2) 学生による取組

「佐賀学生スーパーネット」

1. NPO 法人佐賀学生スーパーネットとは NPO 法人佐賀学生スーパーネット（以下、スーパーネット）は環境保全事業として 2003 年秋頃より大学生協と協力して本庄キャンパス内でペットボトルリサイクル活動を開始しました。「環境・地域・人に貢献する心」をスローガンに掲げ、環境保護活動や教育支援といった活動に日々取り組んでいます。主な活動であるペットボトルキャップ回収については本庄キャンパス内だけでなく、佐賀県ユニセフ協会、佐賀市内の公民館や新聞社、県内各地の高等学校、スーパーマーケット、個人の方々からも集めています。集めたキャップを売却して得た利益は「NPO 法人 世界の子どもにワクチン（JVC）」へ寄付し、JVC からユニセフを通じて開発途上国へのワクチン代金として寄付する取組となっています。

また、環境保護への取組として、竹切を行い、中山間地域の林業を支える他、資源の有効活用にも取り組んでいます。そのほか、様々な環境イベントへの参加を通じて、メンバー内だけでなく地域の人々の環境保護意識の向上を図っています。

2. 活動について 2025 年度も多くの方々からキャップの回収に協力していただき、ワクチン代金として寄付することができました。

また、2024 年度同様、ものスゴフェスタなどの参加を通じて、多くの方への取り組みの認知度向上、環境への意識づけに向けた活動を行いました。

竹切りについては、三瀬の山や佐賀水ものがたり館で竹を切り、それらを使って、ワークショップや学祭で竹細工作り体験を提供しました。竹細工作り体験・竹細工の販売を通して、放置竹林の問題提起、都市と地域の交流の重要性を伝えています。

これらの活動は学生ボランティア助成（一般財団法人学生サポートセンター）に採択され、2014 年度にエコさが基金受賞などの評価、2023 年度には国際ソロプチミスト佐賀様より学生ボランティア賞を受賞しています。また、2023 年度は 4 度目の学長賞を頂きました。

3. 今後の取組 今後の取組としては、これまで取り組んできたキャップ回収活動の継続に加え、学内外でのキャップ回収場所の増加を目指しより多くの学生や地域の方々にペットボトルの分別などの環境保護の意識づけを行っていきたいと考えます。今年度は部員も増えたためこれまでのイベントのみならず、その他のイベントにも積極的に参加したいと思います。また、私たちの活動を周知して頂くことで、スーパーネットの部員のみならず佐賀大学生も一丸となって取り組めるような環境づくりに力を入れていきたいと思っています。

※取組の詳細につきましては環境報告書の本編をご覧ください。

3) 環境負荷抑制とその取組

① エネルギー使用量と削減に向けた取組

活 動 計 画	結 果
1. エネルギー使用量を調査・報告し、削減を促す。 エネルギー使用量等はホームページにて公開。	ホームページにて公開
2. 省エネポスターを掲示し、電気使用量の削減を促す。	掲示板等にポスター等を掲示
3. 節電パトロールを実施し、定期的に居室等を巡回する。	各部局で月1回程度実施
4. 節電チェックリストを作成し、状況を確認して小まめな節電に取り組む。	各部局で定期的の実施
5. クールビズ・ウォームビズを通年で実施して空調の温度を適切に調整管理する。	各教職員室・教室で設定し実施
6. ホームページを活用し電力の使用状況等の表示を行う。	ホームページにて公開
7. 最大使用電力の管理を徹底するため、通報システムにより、使用電力の削減を行う。	通報システムによる通報
8. 待機電力の削減（電力のペースカット）に取り組む。	照明LED化
9. 建物等の新営・改修工事を行う場合は、省エネ法の中長期計画を踏まえた工事を行う。	計画を基に改修を実行

エネルギー使用量 目標：2024年度比 1.0%削減
実績： // 2.0%削減 ○

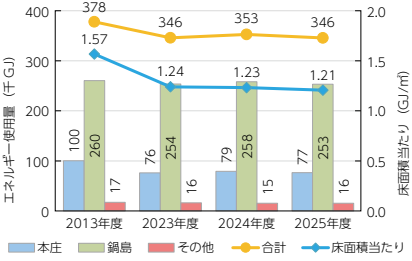
2025年度のエネルギー使用量は345,717 GJとなり、床面積当たりでは2024年度比で2.0%減少しました。

燃料種別によると、2025年度は2024年度と比較して、すべての燃料種で使用量が減少しました。内訳は、電気0.5%減、都市ガス5.2%減、重油15.0%減、灯油9.1%減となっています。

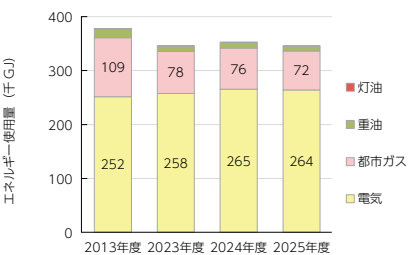
エネルギー使用量が減少した主な要因の一つとして、2025年度は2024年度と比較して夏季および冬季の空調負荷が低減したことが考えられます。気象庁が公表する佐賀市の月平均気温を比較すると、7月は2024年の29.0℃に対し2025年は30.1℃と高かったものの、8月は30.4℃から29.4℃、9月は29.0℃から27.8℃へ低下しました。また、2月は2025年の5.0℃に対し2026年は8.8℃と高くなっています。このことから、2025年度は前年度と比較して、夏季後半の気温が低く、冬季の気温が高かったことが、空調に係るエネルギー使用量の減少に影響したものと考えられます。

部局別にみると、医学部では、2024年度に院生・臨床研究棟の改修工事に伴う一部稼働停止期間があり、2025年度に稼働を再開したため、電気使用量が増加しました。一方、その他の部局では概ね減少しています。

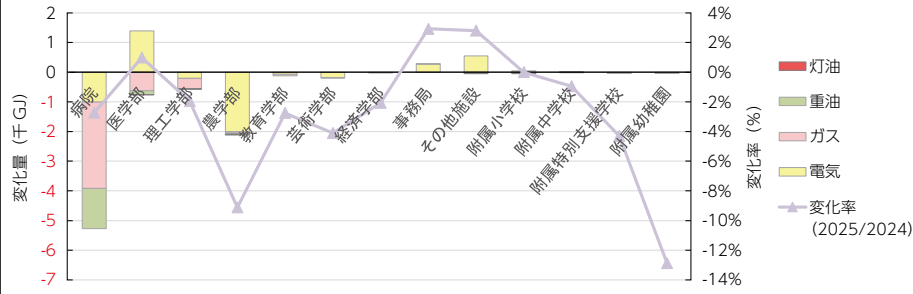
キャンパス別エネルギー使用量



燃料別エネルギー使用量



部局別エネルギー使用量の変化 (2024年度 → 2025年度)





② 水資源投入量と削減に向けた取組

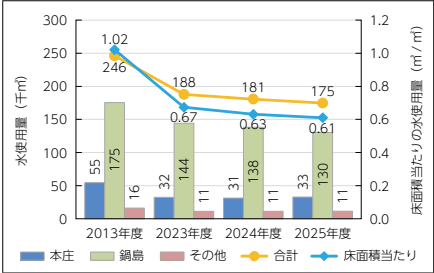
活 動 計 画	結 果
1. 水使用量を調査・報告し、水使用量の削減を促す。	ホームページにて公開
2. 水道等の機器は節水型の機器への更新を推進する。	改修等工事時に設置
3. 井戸水を有効利用し、市水使用量を削減する。	井水と市水の使用量内訳を確認

水使用量 目標：2024 年度比 1.0% 削減
実績： // 3.4% 削減 ○

本報告書における水使用量は、上水、中水および井戸水の使用量を合計したものです。
2025 年度の水使用量は 174,719m³ となり、床面積当たりでは 2024 年度比で 3.4% 減少しました。また、下水排水量は 158,905m³ となり、床面積当たりでは 2024 年度比で 0.5% 減少しました。

キャンパス別にみると、鍋島キャンパスの水使用量は近年減少傾向にあります。本学では、建物の改修工事等にあわせて節水型トイレへの更新を進めるなど、水使用量の削減に取り組んでいます。

キャンパス別水使用量



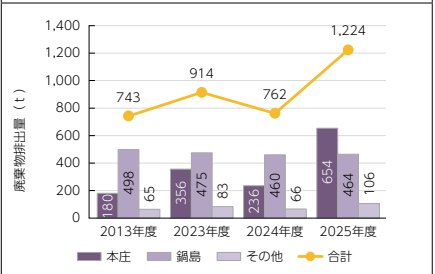
③ 廃棄物排出量と削減に向けた取組

活 動 計 画	結 果
1. 使用済み封筒の再利用を進め、学内使用として繰り返し使用する。 ペーパーレス会議、両面印刷、Nアップ印刷等の推進により、コピー用紙の使用量を削減する。	各部署で実施
2. 廃棄物排出量・コピー用紙購入量を調査・報告し、各部署に廃棄物排出量・コピー用紙使用量の削減を促す。 缶・ビン、ペットボトルの排出量を調査・報告し、リサイクルを促す。 資源ごみの排出量を調査・報告し、資源ごみの回収を促す。	ホームページにて公開

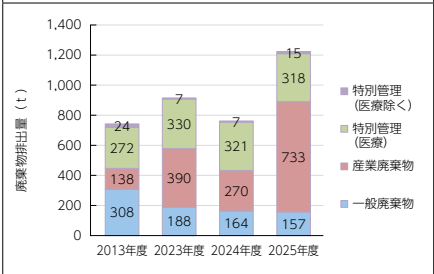
廃棄物排出量 目標：2024 年度実績を維持
実績：2024 年度比 60.7% 増加 ×

2025 年度の廃棄物排出量は 1,224t となり、2024 年度比では 60.7% 増加しました。キャンパス別では、本庄キャンパスで大幅に増加しました。これは、建物の改修工事に伴う備品の更新や、隔年で実施している不用物品の一斉廃棄に加え、キャンパス内に放置されていた自転車の処分を実施したことなどが主な要因です。

キャンパス別廃棄物排出量



種類別廃棄物排出量



④ 化学物質管理の取組

活 動 計 画	結 果
1. 薬品管理システムの運用を促進する。	各部局で実施
2. 研修会等を開催し、化学物質の取扱等の再確認を行う。	ホームページにマニュアル等掲載
3. 実験系廃液処分のマニュアルの整備・周知を行う。	
4. 廃棄薬品等のマニフェストによる管理を行う。	各部局で実施
5. 排出水の pH 値等の確認・管理を行う。	施設課で実施
6. PRTR 届出書による化学物質の排出量の把握と管理を行う。	企画管理課で実施

化学物質管理 **目標：化学物質管理の強化**
実績：CRIS 運用促進及び講習会開催 ○

佐賀大学化学物質管理規程に基づき、化学物質の適正な管理を行っています。研究室で使用する化学物質は、原則として CRIS に登録しており、毒劇物取締法、消防法、労働安全衛生法、PRTR 法等の対象となる化学物質について、購入量、使用量、保管量が把握できる仕組みとしています。

2025 年度の CRIS 登録データにおける使用量上位 3 品目は、酢酸エチル 141,786 kg、10%中性緩衝ホルマリン液 2,040 kg、ドライソール 1,665 kg でした。

毎年 6 月頃に化学物質管理に関する講習会を開催し、CRIS を用いた化学物質管理に加え、CREATE-SIMPLE（厚生労働省が公表しているリスクアセスメントツール）を用いたリスクアセスメントの実施方法について説明し、管理体制のさらなる強化に取り組んでいます。講習会の録画は学内ホームページに掲載しており、いつでも視聴できます。

化学物質管理に関する講習会



講習会の掲載ページ

<https://www.saga-u.ac.jp/esh/kensyu%20kousyu/kensyu%20kousyu.htm>



⑤ 環境教育の推進

活 動 計 画	結 果
1. オリエンテーションや大学入門科目での環境教育を実施する。	4月～6月各学部で実施
2. 学生ボランティア活動への支援を行う。	学生委員会への支援実施
3. ホームページへの掲載による活動の公表を行う。	ホームページで公開

環境教育 **目標：環境教育の充実**
実績：新入生教育実施継続 ○

例年、全新生を対象に、大学入門科目等でリーフレットや動画教材を用いた 1 コマの環境教育を必修で実施しています。内容は、エコアクションの概要や、学内および佐賀市におけるごみ分別方法などです。2025 年度は、対面およびオンラインで実施しました。講義後は、SDGs に関する設問を中心とした事後問題とアンケートを Forms で実施し、ほとんどの設問で正答率が 8 割以上となったことから、受講者に一定の理解が得られていることを確認しました。

動画教材「暮らしの中の環境教育（2025 年度）」



※各学部等の取組の詳細については環境報告書の本編をご覧ください。

SDGs

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）とは、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための 17 の目標（ゴール）・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。



佐賀大学の教育・研究・医療活動に伴う環境負荷（2025年度） 全体像図

- 1) 環境に配慮できる人材の育成
- 2) 環境の保全・改善のための研究開発
- 3) 自然環境保全
- 4) 環境マネジメントシステムの確立



主要な環境指標等の推移

環境への負荷の状況（2013、2022～2025年度）

環境への負荷		単位	2013年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量	購入電力	GJ	251,539	256,170	257,626	265,423	264,027
	化石燃料(ガス・重油・灯油)	GJ	126,628	90,455	88,173	87,244	81,689
	新エネルギー(太陽光発電)	GJ	2,036	3,216	3,045	3,253	3,543
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	t-CO ₂	21,707	13,011	15,992	15,756	15,522
水使用量	水	m ³	246,181	186,701	187,855	180,666	174,719
総排水量	下水道	m ³	207,398	166,553	164,180	159,610	158,905
	公共用水域	m ³	4,864	2,287	2,515	1,927	1,714
物質使用量	コピー用紙	t	108.3	76.6	77.2	77.7	76.2
化学物質使用量		kg	-	8,540	8,011	8,918	151,402
廃棄物排出量	一般廃棄物	最終処分量 t	307.5	146.9	188.1	163.8	157.3
	産業廃棄物	最終処分量 t	434.2	906.1	726.4	597.9	732.9

佐賀大学環境報告書2026 ダイジェスト版

国立大学法人 佐賀大学環境安全衛生管理室

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1（本庄キャンパス）

TEL 0952-28-8201・8202 FAX 0952-28-8890 E-mail esh@mail.admin.saga-u.ac.jp

お問い合わせ先